

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月20日

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮崎県庁	代表者名	知事 河野 俊嗣
担当者部署	総合政策部デジタル推進課	連絡先電話番号	0985-26-7045
担当者役職	主査	担当者氏名	小牧 信也
住所	0985-26-7045 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体情報システムの共通化・標準化に関してGov-Cloud先行事業の状況等を踏まえてご説明をいただいた。最新の動向を踏まえて御講演いただいたことで、今後の流れを把握することができ、市町村における取組を進めて行く上での一助となると考える。また、本県内の市町村においてはFit&Gap分析の真っ最中であり、今後検出されるGap部分についてどう扱っていくのかを考える必要が出てくる。これに対しても、対応の考え方を示していただいたことで、今後の取組の更なる推進が図られるものと感じた。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。今回、業務担当課の職員も参加可とさせていただきますが、これら職員に向けても改めてシステム共通化・標準化が必要となった経緯からご説明いただく等、丁寧な助言、支援をいただきました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年12月16日	支援・助言(実地)	有	令和4年11月18日	387
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年12月16日	講演（オンライン）	13時30分	15時00分	90
3-2. 派遣場所	会場名	宮崎県庁	最寄駅	宮崎駅	
	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目10番地1号	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	県及び市町村職員（業務担当課含む）	94人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体システムの標準化・共通化は、夏に20業務全ての標準仕様書が出そろい、10月には地方公共団体情報システム標準化基本方針が閣議決定される等、大きな動きが見られたところである。基本方針においては、改めて令和7年度までの移行期限が示され、市町村においても取組が加速し始めているが、今後より一層の取組推進のためにも、庁内全体として最新状況の正確な把握が必要である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	自治体システムの標準化・共通化およびGov-Cloudの状況についての講義を通じて自治体内において、情報主管課、業務担当課各々が、それぞれの立場で何をすべきなのか、どう取り組んで行くべきかを最新の情報を踏まえて改めて確認・認識することで今後のさらなるDX推進の取組につなげる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・自治体システムの標準化・共通化について → 基本方針等の概要説明、目指す姿、Fit&Gap分析について 仕様書における考え方（機能要件、帳票要件、データ要件等）、スケジュール ・Gov-Cloudについて → 概要の再確認、先行事業の検証内容、利用ポイント説明（コスト面、利用方法等）	
支援を受け改善又は解決された内容	今回、参加対象として業務担当課職員も含めたことで、全庁的な意識醸成にも繋がったと考える。今後のシステム標準化・共通化におけるFit&Gapの結果から、PPPを含めた業務全体の運用効率化	

(具体的にご記入下さい)	今後のシステム標準化・共通化におけるFII&Gapの所未かつ、DPNとGWIに未務主体の運用停止しやガバメントクラウド利用に向けた利用方法等の整理等、具体的な取組が加速すると思われます。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	ガバメントクラウドに関して、ネットワーク関連や利用料など仕様未確定な部分について、今後の標準仕様書の改定等含め、最新の情報を収集しつつ、正確な解釈・作業への落とし込みを実施しながら取組を進めていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし(アンケート調査ではなく、自治体DX推進計画に基づき、示された標準仕様等に沿って各自治体各々で計画立てて取組を進めていただくこととなります)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	県としては、PMOツール等を用いながら各市町村の進捗状況把握し引き続きサポートしていく。各市町村においては、令和7年度末までのガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへの移行を目指す。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

<オンラインでの講演の様子>

